



放射能対策推進町民会議だより

第32号 平成28年5月25日発行 会長：高橋 宣博
事務局：桑折町環境対策課 ☎024-582-2123

第6回桑折町放射能対策推進町民会議を開催します

平成24年4月に、全町民が会員となって設立した町民会議も4年が経過し、要望活動や講演会など、これまで様々な活動を行ってきました。今後も一丸となって放射能対策に取り組んでいくため、本年度も第6回総会を6月7日に開催します。今回は、講師に河北新報社編集局編集委員 寺島英弥 氏を迎え、ご講演いただきます。
あなたの力をみんなの力に！！どうぞみなさま奮ってご参加ください！

参加費
無料

第6回桑折町放射能対策推進町民会議・講演

「東日本大震災から5年 復興を阻む壁、どう破る」

講師 ^{てらしま} 寺島 ^{ひでや} 英弥 氏 (河北新報社編集局編集委員)

【講師プロフィール】

1957年、相馬市生まれ。早大法卒。論説委員、編集局次長兼生活文化部長を経て現職。

東北の暮らし、農漁業、歴史などの連載を長く担当し、11年から大震災取材。

著書に「悲から生をつむぐ『河北新報』編集委員の震災記録300日」(講談社)、「東日本大震災 希望の種をまく人びと」(明石書店)、「東日本大震災3年目 海よ山よ、いつの日にも還る」(同)、「東日本大震災4年間の記録 風評の厚き壁を前に」(同)など。ブログ「余震の中で新聞を作る」。



東日本大震災・福島第1原発事故が起きてから5年たったが、震災も原発事故も終わらぬまま、被災地の復興は遠いまま。4月に熊本で新たな震災が発生し、関心は東北を離れて風化はまた進む。東北の被災地で何がなお復興を阻む問題か、どう乗り越えるか、現場の実情と模索を報告していただきます。

- 1 北の津波被災地の遅々たる歩み・戻らぬ住民 ～気仙沼、陸前高田から
- 2 避難指示解除迫る原発事故被災地、置き去りになる問題 ～飯舘村から
- 3 東北の復興を阻む「風評の壁」と、地元住民たちの模索 ～南相馬市、石巻市から

平成28年6月7日(火) 午後6時00分より

※町民会議の活動経過報告等を行った後、講演会となります。

桑折町屋内温水プール

・多目的スタジオ「イコーゼ！」 1階「多目的スタジオ」